

IPランドスケープによる戦略的な知財活動の進め方

～知財重視の企業活動に向けたパテントマップ作成・アイデア発想のポイント～ **【LIVE配信】**
【アーカイブ配信】

◆日時：2024年10月29日(火) 10:30～16:30

【アーカイブ配信：8/28～9/11(何度でも受講可能)】

◆会場：【WEB限定セミナー】※ご自宅や職場でご受講下さい。

◆受講料：1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円**

・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円)**

・ライブ配信視聴、アーカイブ配信視聴いずれも受講料は同じです。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】 大藪知財戦略コンサルティング 代表 大藪 一 氏

【講座趣旨・プログラム】 ※詳細内容は弊社HPでご確認下さい。

特許庁の「知財スキル標準Ver2.0」によると、企業が保有すべき知的財産に関する機能の「戦略」の中に「IPランドスケープ」のスキルが盛り込まれました。しかし、知財業務の中でM&Aや新規事業テーマ探索、有望市場の開拓等の業務が発生する頻度は少なく、担当者が経験できないという問題があります。また、IPランドスケープでは市場・技術・特許を調査分析しパテントマップで自社の現状と将来の目標とのギャップを明確にし、ギャップを埋める戦略を立案しなければなりません。従来のパテントマップでは、将来を見据えた機能、技術、事業を鳥瞰できないという欠点があります。将来を展望するためには機能キーワードで考えられるすべての機能を発想し、網羅し、機能ツリーを作成するのが効果的で、次に機能ツリーと特許を紐づけし「機能鳥瞰マップ」を作成します。そして攻め所を特定して考えた多量のアイデアから自社の勝てる開発戦略・知財戦略を策定します。本講座ではIPランドスケープによるこれらの知財分析・活用のステップについて、特にパテントマップに基づいて将来を展望し、経営戦略・知財戦略を立案・実践する方法を紹介します。

1. 知的財産権を取り巻く現状

2. 知財スキル標準とIPランドスケープ

3. 知的財産権と知財戦略

3-1 知的財産権とは 3-2 知財戦略とは

4. テーマ推進ステップと知財戦略活動

4-1 研究部門でのテーマ推進ステップ事例

4-2 強い特許取得ができるかはテーマ次第

5. 特許調査の種類

5-1 企業における事業ステップと必要な特許調査

5-2 特許調査の種類と内容一覧 5-3 技術動向調査

5-4 先行技術調査 5-5 テーマの日常特許ウォッチング

6. パテントマップ

7. 技術動向調査での特許調査とパテントマップ

7-1 特許動向調査の進め方 7-2 事前調査(技術内容、技術動向、主な出願人)

7-3 事前調査による検索式の作成 7-4 明細書の内容を精査しない動向調査例

7-5 ニューエントリーキーワードによる解析例 7-6 出願数の増加(グロスレイト)解析例

7-7 明細書の内容を精査し独自分類し動向調査

8. M&Aにおける特許調査とパテントマップ作成

(仮想事例1: 被買収企業国内、仮想事例2: 被買収企業海外)

8-1 経営戦略に基づくIPランドスケープ指示

8-2 現状把握

8-3 将来展望

8-4 将来の自社目標ポジション

8-5 ギャップの解析

8-6 ギャップを如何に埋めるかの戦略立案

8-7 経営への知財戦略の提言

9. パテントマップの利点・欠点とその対策

10. 発想手法

10-1 発想数はパワー?

10-2 思考の階層の概念

10-3 発想の原理

10-4 よく使われている3大発想法

10-5 チェックリスト法 10-6 ブレーンストーミング法

10-7 KJ法

10-8 3大基本発想法まとめ

11. 「α発想法」による将来を展望する機能ツリーの作成事例(例: 自動車用LED)

11-1 科学的発想法「α発想法」による機能ツリーの作成具体事例

11-2 構成ツリーと機能ツリーの比較

11-3 機能ツリーを活用した知財戦略の立案と推進方法

12. 自社が勝つパテントマップの作成と知財戦略手法の進め方

12-1 知財戦略手法「U' Method」概要 12-2 推進テーマの決定

12-3 機能鳥瞰マップの作成 12-4 攻め所を決める

12-5 可能性アイデアの多量発想

12-6 「U' Method」を用いた勝てる知財戦略

12-7 「U' Method」によって得られる特許の実力について

13. 有望市場・有望用途の探索方法

14. 知財戦略実践の具体事例

14-1 特許の質を向上する知財戦略実践事例

14-2 パテントマップはテーマアップに必須

14-3 パテントマップをテーマ推進に定着させる実践例

14-4 パテントマップの自動メンテナンス事例

15. 知財戦略のポイント

15-1 経営に役立つ知財戦略 15-2 特許以外の知的財産権

15-3 グローバルな知財戦略 15-4 特許の出願から権利化放棄プロセス

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら(https://zoom.us/download#client_4meeting)からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。

2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら(<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。

3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。

・セミナー資料は開催前日までにお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『IPランドスケープ』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒ ☐LIVE ☐アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐郵送

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>